

FOLFOXIRI+アバスチンを受けられる

様へ (この用紙は、入院時必ずご持参ください)

○心身共に安定した状態で大腸癌の治療が受けられ、順調に経過する
○退院の準備が整い早期に社会復帰できる

説明医師
説明看護師(外来)
看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日				
経過	入院当日		治療 1 日目		治療 2 日目		治療 3 日目	
目標	○心身共に安定した状態で治療が受けられる		○副作用の出現がない ○心身共に安定した状態で治療が受けられる					
検査	身長体重測定							
食事	朝食は 自宅で							
								()
処置・観察	リストバンドを装着します		点滴（ポート）の針をさします 点滴の針を入れている箇所の観察をします		点滴の針を入れている箇所の観察をします		点滴の針を入れている箇所の観察をします 点滴が終了したら針を抜きます 退院時にリストバンドを外します	
			状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります					
注射・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください		以下の点滴を行います(約5時間半) 1) 制吐剤 2) アバスチン 3) イリノテカン 4) オキサリプラチン 5) レボホリナート(4と同時滴下) 6) フルオロウラシル (トレフューザーポンプで46時間投与)					
行動	運動制限はありません							
	シャワーは可能です (週3回、病棟毎で日が異なります)							
説明	医師より説明 (外来または入院時) ・治療計画について ・化学療法について		看護師より説明 ・点滴投与中の注意点について				医師より説明 ・退院後の治療計画、 療養上の留意点について	
	薬剤師より説明 ・内服・点滴について ・持参薬確認						看護師より説明 ・退院後の療養生活について ・次回受診日時等について	

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

08-251-24

2024.1.29 版

京都第一赤十字病院